

<様式1> 管理運営状況評価書

は選択入力項目

は自動計算のため入力不要

【対象年度:平成30年度】

(①歴史・文化施設)

I 施設概要・利用情報

(単位:人、%、円、日)

施設名		掛川市茶室	担当課名	文化振興課	記入者職氏名	主事補 石黒翔子
区分		内容・説明				
1 施設及び指定管理者の状況	(1)設置条例名	掛川市茶室条例				
	(2)施設設置目的	茶道文化の普及及び伝承並びに市民文化の向上を図る。				
	(3)施設が有する設備、機能の概要	茶室:建築面積202.9㎡、広間、小間、立礼席の3茶室がある。				
	(4)施設建設年度	平成13年度				
	(5)耐震性能の有無	有				
	(6)将来予想される改修経費 (想定年度と費用見込み)					
	(7)指定管理者名	掛川城管理運営共同体				
	(8)指定期間	平成26年4月1日 から 平成36年3月31日 まで				
	(9)債務負担行為設定の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 設定あり <input type="checkbox"/> 設定なし		※設定ありの場合、(期間 平成26年度～平成35年度) (限度額18,000千円)		
	(10)施設の管理運営形態	②利用料金制度				
	(11)自主事業の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 実施あり <input type="checkbox"/> 実施なし		※実施ありの場合は、収支状況をⅢ-(3)欄に記入のこと。		
(12)その他事業の有無	<input type="checkbox"/> 実施あり <input checked="" type="checkbox"/> 実施なし		※実施ありの場合は、収支状況をⅢ-(3)欄に記入のこと。			
(13)事業報告書提出の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 提出あり(地自法第244条の2第7項による提出義務) <input type="checkbox"/> 提出なし					
(14)利用者満足度調査等実施の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 実施あり <input type="checkbox"/> 実施なし		※実施ありの場合、(直近の実施年度 平成 年度)			

区分		H28実績	H29実績	H30実績	H31当初	備考		
2 利用状況	(1)施設利用者数	(目標値)	城・茶室・竹の丸の全体で167,000	城・茶室・竹の丸の全体で175,400	城・茶室・竹の丸の全体で184,000	城・茶室・竹の丸の全体で190,500	※協定書に記載した要求水準値を記入してください。	
		(実績値)	19,269	22,188	23,251			
	内訳 (施設・設備ごと)	入館者	18,123	21,033	22,077			
		使用者	1,146	1,155	1,174			
	(2)稼働率(利用率)						↓備考欄に算定式を記入してください↓	
	(施設・設備ごと)	(定員 人)	A平日昼間					
			B平日夜間					
C土日祝昼間								
D土日祝夜間								
(定員 人)		A平日昼間						
		B平日夜間						
		C土日祝昼間						
		D土日祝夜間						
(定員 人)		A平日昼間						
		B平日夜間						
		C土日祝昼間						
		D土日祝夜間						

2 利用状況	(施設・設備ごと)	(定員 人)	A平日昼間					
			B平日夜間					
			C土日祝昼間					
			D土日祝夜間					
		(定員 人)	A平日昼間					
			B平日夜間					
			C土日祝昼間					
			D土日祝夜間					
		(定員 人)	A平日昼間					
			B平日夜間					
			C土日祝昼間					
			D土日祝夜間					
区分		H28実績	H29実績	H30実績	H31当初	備考		
3 管理・運営状況	(1)指定管理者名						※1-(7) 現在の指定管理者と異なる年度のみ記入	
	(2)利用者一人当たりの運営経費							
	(3)運営日数		365	365	365	365		
	(4)運営人員	①正規職員	0.0	0.0	0.0	0.0	※指定管理者の組織構成員全体の人数ではなく、当該指定管理施設で働いている実人数を記入してください。	
		②臨時職員	6.0	6.0	6.0	5.0		

II 施設管理に係るコスト情報

(単位:円、%)

区分		H28決算額	H29決算額	H30決算額	H31当初予算額	備考
	①人件費					H26より、掛川城と茶室と竹の丸を合わせて掛川城へ一括計上
	②印刷費					
	③通信費					

(1)運営コスト(A)	④事務用品、旅費、図書費など					
	⑤借上料					
	⑥保険料、消費税(租税公課)等					
	⑦その他(支払手数料、広告宣伝費、一般管理費、雑費)					
	計	0	0	0	0	
	対前年度増減率					
区分		H28決算額	H29決算額	H30決算額	H31当初予算額	備考
(2)施設コスト(B)	①管理委託費(外注費)	0	0	0	0	
	計	0	0	0	0	
	対前年度増減率					
(3)トータルコスト(施設管理費 合計) (A)+(B)		0	0	0	0	

(4)合計のうち運営コストの割合				
(5)施設の収入 ※1)下記3に入力する	0	0	0	
(6)運営コストのうち利用料収入の割合				

Ⅲ 収支差額の状況 **注【指定管理料施設は(1)欄に、利用料金制度又は両制度併用施設は(2)欄に記入。また、自主事業を実施している施設は(3)欄に記入】**

(1)指定管理料のみで運営している施設

(単位:円)

区分	H28決算額	H29決算額	H30決算額	備考
a) 施設使用料収入				※施設使用料は、掛川市へ収入される
b) 指定管理料				
収支差額 a) - b)				

(2)利用料金制度施設又は指定管理料・利用料金併用制度施設

(単位:円)

区分	H28決算額	H29決算額	H30決算額	備考
a) 施設利用料金収入				※施設利用料金は、指定管理者へ収入される
b) 収支差額(a - 一トータルコスト)				
c) bに対する市の支出額(指定管理料)				

(3)自主事業及びその他事業の状況

(単位:円)

区分	H28決算額	H29決算額	H30決算額	備考
a) 自主事業の収入				
b) 自主事業の支出				
収支差額 a) - b)	0	0	0	
c) その他事業の収入				
d) その他事業の支出				
収支差額 c) - d)	0	0	0	

IV 担当課による評価

(1) 施設設置目的の達成度

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	設置目的を達成できている	3	来館者は伸びており、28年度末からは、呈茶で使用する抹茶を京都産から掛川産に変え、掛川茶の普及に取り組んだ。掛川市の茶道文化の普及と伝承のため、引き続き、創意工夫を凝らした取り組みの実施が求められる。
2	設置目的をほぼ達成できている。		
1	設置目的を一部達成できていない。		
0	設置目的を達成できていない。		

(2) 協定書に記載した業務要求水準の達成度 <達成 3点、8割達成 2点、6割達成 1点、6割以下の達成度 0点>

評価項目	要求水準	実績	評価	改善を要する点
A 施設全体の満足度	90%以上	100%	3	引き続き高水準を維持できるよう、月例報告などで課題等を共有しながら、維持管理にあたる。
B サービス内容の満足度	90%以上	100%	3	引き続き高水準を維持できるよう、月例報告などで課題等を共有しながら、維持管理にあたる。
C 従業員対応の満足度	90%以上	100%	3	引き続き高水準を維持できるよう、月例報告などで課題等を共有しながら、維持管理にあたる。
D 施設安全対策の満足度	90%以上	100%	3	引き続き高水準を維持できるよう、月例報告などで課題等を共有しながら、維持管理にあたる。
E 美観・清潔感の満足度	90%以上	100%	3	引き続き高水準を維持できるよう、月例報告などで課題等を共有しながら、維持管理にあたる。
F 施設の利用者数	184,000人以上	159,290人	2	気候等の影響で入館数に大きな変化が出ているため、気候に左右されにくい企画等が求められる。

*協定書の業務要求水準及び実績を記載し、評価については要求水準に達していれば3、8割達成は2、6割達成は1、6割以下は0としてください。

(3) 収支の改善状況

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	前年度より収支状況が向上している。	3	
2	前年度より収支差額が縮小(改善)している。		
1	前年度と同等の収支差額になっている。		
0	前年度より収支差額(赤字)が増えている。		

(4) 安全対策・危機管理体制など

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	利用者の安全対策や危機管理体制は万全である。	2	特に危険な箇所はないが、危険箇所がないかを日頃から確認し、マニュアルにより急な事故等の対応を常に心得ておくこと。
2	万全とは言えないが、事故等が発生する確率は低い。		
1	安全対策・危機管理体制は整っているが、昨年度事故等が発生している。		
0	利用者の安全対策や危機管理体制に不備があり、改善が必要である。		

(5) 本施設(事業)の継続性と行政の関与について

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	民間が実施できる事業であり、行政が実施しなくてよい。 (施設の貸付、売却、譲渡、独立採算制などを検討)	3	
2	民間が実施できるが、行政の関与が必要である。 (直営化、一定額指定管理料制度など)		
1	現在の指定管理で良いが、大幅な経営改善が必要である。 (独立採算制、一定額指定管理料制度への移行など)		
0	民間では実施できない、担い手がないため、行政がやるべきである。 (直営化など)		

(6) 総合評価

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	本施設の指定管理者として、特に優れている。最適である。	2	独立採算となって5年目になるが、維持管理体制が問題なくとられている。気候等の影響で入館に差が出るため、以後の期間も、独立採算制を維持できるように留意する。
2	本施設の指定管理者として、問題はなく適当である。		
1	本施設の指定管理者として、やや劣っている。改善を要する。		
0	本施設の指定管理者として、著しく劣る。適当でない。		

合計

30

/ 33

V その他自由意見

--